

村のようす
(43.7月1日現在)

世帯数 1,429戸
人口 7,583人
男 3,684人
女 3,899人
面積 46.62km²



たまがわ

広報

編集と発行
福島県石川郡玉川村役場
大越力夫
でんわ 川辺 1・39・124

印刷所
須賀川市加治町69
有限会社 円谷印刷



果樹栽培だより

本村の主要果樹の作付面積も年々上昇の一途をたどり、りんごは約13ha、ももは4haとなり、収穫量も逐年増量の傾向にある。りんごの成園も7ha45tとなり、ももに於ては成園2ha40t程度の収穫量が予想される段階に到達、これ等の分布地帯は主に竜崎、岩法寺等の本村西北部で新産都市郡山の発展に伴い有望作目として大いに期待されよう。

八月の行事予定表

総務課

一九日 小中学児童生徒の安全な自転車の方コンテスト大会
(須釜小)
下旬 昭和四二年度決算監査

住民課

二六日 老人健康診査 (西部地区)
二七日 〃 〃 (西部地区)
二九日 〃 〃 (東部地区)
三〇日 〃 〃 (東部地区)
三一日 乳幼児検診 母子センター
六日 妊婦検診 須釜支所
九・二五 一般住民結核検診
一四・一五 歯科巡回診療(四辻地区)
一五日 敬老会 (敬老の日)

企画室

二〇日 第十回農業委員会 (支所)

事業課

二三日 農業改良推進員役員会
九・三日 生活改良推進員研修会
一〇日 農構経営近代化施設推進協議会

教育委員会 公民館

二〇日 青年学級
二〇日 千五沢部落民俗調査
九・一日 村民野球大会
一五日 婦人バレーボール大会

敬老の日

八月一日現在の部落別高令者は次のとおりです。

矢矢関 曲 大須吉白熊鈴須山川鈴三矢矢坂大
吹吹根高山生竹藤田旗田木藤崎崎木瓶和田吹部本竹
ツヒ忠 ト ツ永フハキト金フ聖仙イ重ククトス
メデ治 ラ 子次ミタンキ司ヨ三助チ藏ンラミテ
80 86 81 85 82 84 80 83 82 80 80 89 81 83 83 80 81 80 80 82

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|
| 岩 | 永 | 小 | 国 | 小 | 小 | 角 | 中 | 高 | 首 | 関 | 車 | 国 | 溝 | 関 |
| 法 | 林 | 針 | 分 | 針 | 針 | 田 | | 原 | 藤 | 根 | 井 | 井 | 松 | |
| 寺 | カ | ナ | 国 | ソ | 清 | 源 | | フ | リ | ト | キ | 重 | ム | 竹 |
| | ク | オ | 一 | メ | 助 | 次 | | ジ | ウ | ヨ | ヨ | 世 | メ | 松 |
| | 81 | 81 | 84 | 82 | 82 | 81 | | 81 | 85 | 87 | 83 | 81 | 86 | 90 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 大塩 | 石草 | 草吉 | 相小 | 小宗 | 塩 | 南須 | 小岡 | 上野 | 小林 | 小仁 | 鈴鈴 | 鈴鈴 | 小鈴 | 小鈴 | 小鈴 | 仁 | 竜 | 大倉 | 矢村 | 草 | 大 | 吉 |
| 木沢 | 森野 | 野村 | 樂原 | 原 | 形 | 釜 | 林 | 都 | 林 | 林 | 木 | 木 | 木 | 林 | 林 | 井 | 嶋 | 竹 | 鎌 | 越 | 野 | 田 |
| 吉 | キ | 周 | アイ | ク | イ | サ | イ | シ | 徳 | イ | リ | サ | キ | サ | 左 | 喜 | 政 | マ | ト | コ | モ | ナ |
| 成 | ク | 助 | ケ | キ | ノ | ラ | ノ | 助 | モ | 二 | ト | エ | ヨ | イ | 衛 | 門 | 一 | サ | メ | ウ | ン | ラ |
| 83 | 82 | 83 | 81 | 83 | 85 | 84 | 81 | 86 | 81 | 84 | 84 | 81 | 86 | 84 | 84 | 82 | 83 | 85 | 84 | 83 | 83 | 82 |
| 87 | 85 | 84 | 81 | 86 | 81 | 84 | 84 | 81 | 86 | 84 | 84 | 82 | 83 | 85 | 84 | 83 | 83 | 82 | 87 | 85 | 84 | 84 |
| 85 | 87 | 88 | 81 | 89 | 82 | | | | | | | | | | | | | 84 | 85 | 87 | 88 | |
| 81 | 89 | 82 | | | | | | | | | | | | | | | | 81 | 89 | 82 | | |

請求はお済みですか

吉 矢 瀬 関 小 矢 鈴 渡 矢 草 草 北
 吹 谷 根 針 吹 木 辺 吹 野 野 須
 ナ ス ヨ 蔵 清 ハ シ タ イ 釜
 ツ ミ シ 重 蔵 シ メ リ ク 助
 81 84 87 82 81 88 80 82 83 85

増 草 熊 阿 阿 増 大 大 佐
 子 野 谷 部 子 野 野 藤
 郡 ヤ カ キ 敬 ム ミ ケ 光
 平 ス メ ク 治 メ ツ サ 勝
 80 80 80 80 81 80 83 87 83

山 佐
 小 藤
 屋 ト ヨ
 矢 吹 玉 之 助
 石 森 文 之 亟
 83 82 85

昭和四十二年八月一日引揚者等に対する特別交付金の支給に関する法律が制定されてから一年を迎えました。この特別交付金は外地に生活の本拠を「一年以上」もっていた人が終戦等のやむを得ない理由により本邦に引揚

引揚者別立
 請求は

昭和四十二年八月一日引揚者等に対する特別交付金の支給に関する法律が制定されてから一年を迎えました。この特別交付金は外地に生活の本拠を「一年以上」もつていた人が終戦等のやむを得ない理由により本邦に引揚げることとなつたために、在外財産のみならず生活利益その他生活に根ざすべきものを失つた打撃にむくいるために支給されるものです。支給対象者は昭和二十年八月十五日終戦日まで外地に引続き一年以上に生活の本拠を有

| 年 齡 区 分 | 引 揚 者 | 遺 族 |
|-------------|----------|----------|
| 5 0 才 以 上 | 160,000円 | 112,000円 |
| 35才以上～50才未満 | 100,000円 | 70,000円 |
| 25才以上～35才未満 | 50,000円 | 35,000円 |
| 20才以上～25才未満 | 30,000円 | 21,000円 |
| 2 0 才 未 満 | 20,000円 | 14,000円 |

相談ください。

檢察審査会とは、選舉人名簿をもとに、くじで選ばれた民間人の代表十一人の檢察審査員が、檢察官のしことのやりかたを審査するための制度です。

どんな仕事をするところか。檢察官のしたた不起訴処分のみよしあしを審査するのがおもな仕事の一つです。

事件を審査してもらふには、犯罪を告訴、

道路を守る月間

道路交通の著しい発展に伴い道路環境整備について多大の関心が寄せられている現在、全国一斉に八月一日より道路を守る月間として実施することになりました。

南須釜区の道路愛護団

以後本邦に引揚げた者及び外地に終戦日まで引続き一年以上生活の本拠を有していた者で本邦に滞在中終戦によつて、その生活の本拠を有していた外地へもどることができなくなつた者等に請求にもづいて支給されます。

支給金額は、昭和二十年八月十五日におけ

引続き一年以上生活の本拠を有していた者にはこの表の金額に一万円、遺族については七千円加算されます。

請求期限は昭和四十五年三月迄となつておりますが、未請求者は早急に手続されるようお知らせいたします。

詳しいことは役場で相談を受けてください。

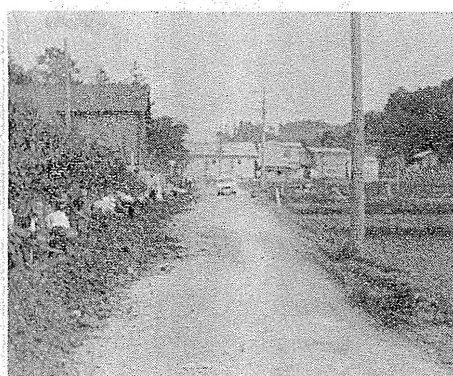
ご意見ご感想を
お寄せください

本紙について、ご意見、ご感想等がありましたら下記あてお送りください。

玉川村役場広報たまかわ編集委員会

「あなたはこんな場合——
 どうしたらよいか？」

詐欺 おどし、交通
事故など、犯罪の被害
にあつて、警察や検察
庁に訴えたが、検察官
がその事件を裁判にか
けてくれない。どうも
なっとくできない
こんな不満をもつて
いるかたはいませんか
？そういうかたは、そ
のまま泣き寝入りしな
いで、検察審査会にご



村と
しても
県民運
動の一
環とし
て、本
運動を
実施し
たく皆
の御様
協力を
お願い
致しま
す。

村民登山会



全員安達太良山頂を征服

玉川村
公民館主
催第二回
の村民登山会は
快晴に恵まれた
八月六日九十八
名が参加して、
みちのくの山の
玄関と言われる
安達太良山に全
員登り無事終了
した。

参加者は二台の貸切
りバスに分乗、午前六
時三〇分役場前を出発
塩沢温泉口で下車、体
育指導員が班長となり
安達太良随一の渓谷美
に恵まれている湯川溪
谷を探索しながら七ツ
滝、それに荒岩と呼ば
れる荒山の変化の面白
い地帯を通り「くろが
ね小屋」で昼食ののち
鉄山、失智線の岩壁を
左右に見上げつつ、崩
れそうになった灰白色
の道を、はうようにし
て馬の背にたどり着い
た。ここから沼の平噴
火口の何とも形容しが
たい景観と、満足に似
た思いを抱きつつ、こ
こから牛の背と呼ばれ
る稜線をたどって安達
太良山頂一、七〇〇米
に到達した。

頂上で休そくののち
峰の辻、勢至平を通っ
て奥岳に無事ト山、こ
こで待っていたバスに
乗り途中岳温泉に入り
登山の疲れを取り午後
六時半全員無事家路に
ついた。

この登山に参加した
最高令者は吉の森義雄
さん七〇才で、若者顔
負けの健脚ぶりを発起
した。

個人事業税の納税は
こんな便利な方法で
昭和四十三年度個人
事業税第一期（八月一
日から八月三十一日ま
で）の納期から口座振
替納税の制度を実施し
ております。これは納
期限までに納税者の取
引銀行にある預金口座
から納めるべき税額が
自動的に県税に振替え
られる方法です。

（福島県石川事務所
税務課）

健康手帳
『酒』と『たばこ』
酒は、血のめぐりを
よくし、筋肉や脳の疲
勞物質をとり除く。疲
れた仕事上りの夕べ、
酒で疲れをとり除く。
頭を使いつくした後、
同じくその疲れをいや
す。あわせて心のスト
レスを除きくつろいで
自然に眠りに入れる。
このように用いれば
酒はまことに良剤とい
えるが、これを過度に
用いれば休息変して身
心過勞の悪魔の水とな
る。

また、慢性気管支炎
慢性胃炎、肺ガンなど
の発生率が多いことは
動物実験によっても統
計的にもはつきりと出
ているのである。

一般論としては一日
四、五本にとどめる、
ニコチンや、紙のすず
が口に入るのを防ぐた
めに、フィルター付の
たばこを用いる、紙巻
なら半分まですって後
を捨てるなどの方法が
たばこの害から身を守
る。

八月は個人事業税

（第一期）の納期です

夏と共に今年もまた
個人事業税一期分の納
期がまいりました。八
月三十一日まで、お
忘れなく納めてくだ
さい。

公民館主催第九回玉
川村親善野球大会は、
去る七月二十八日午前
七時三〇分より六チー
ムが参加して開かれ、
攻守に勝る泉郷野球ク
ラブが優勝した。

成績次のとおり。

一回戦 双羽電機 7-3 役場職員
二回戦 泉郷クラブ 6-3 川辺ポスト
三回戦 駒木根工業 10-5 双羽電機
四回戦 駒木根工業 7-3 農業団体

決勝 泉郷クラブ 7-3 駒木根工業

夏の心では脳の細胞
をおかし、身体の上で
は肝臓組織をおかす。
精神的にはアルコール
中毒となり、肝硬変症
を起し、ますます量が
ふえる。

寝がえもむし暑い宵
のうちに、かげふとん
を知らずにはいではし
まったり、ねまきが知
らずにはだけたりして、
ひえこむことが原因で
す。夏かぜや寝びえを
ふせぐには、かならず
寝こんでも空気に皮ふ
をさらさないように、
適当な衣類をまとうこ
とがまず第一です。



41年台風第26号による被害

3ヶ月天候予報

概要

盛夏期は多少変動はあるが、おおむね順調
に暑い夏になる見込です。しかし初秋の気温
は平年並みかやや低めに経過しそうです。

なお、8月から10月上旬にかけて本土に接
近または上陸して影響を与える台風が2~3
個くらい見込まれ、特に今年は東日本への影
響が幾分多い傾向があります。

気温

8月：月上旬と下旬ころに一時低温の現われ
るおそれがありますが、全般に暑い日が多
く月平均では平年並みかやや高めになる見
込みです。

9月：はじめは平年並みくらいですが中旬
以降は低めの日が現われやすくなり中通り
では平年並みかやや低くなりそうです。

10月：時々冷え込みの強い日が現われます
が月平均では中通では平年並みかやや高く
なる見込みです。

降水量

8月：太平洋高気圧がやや北にかたよって
張り出し、晴れの日が多く月の総量は平年
並みかやや少なめ傾向があります。しか
し雷雨や台風の影響で局地的にやや多めと
なる所もありましょう。

9月：はじめ残暑型の気圧配置が現われま
すが、中旬以降は雷雨やにわか雨の降りや
すい天候となる見込です。

なお、中旬には日本に影響する台風が1
~2個あるでしょう。月の総量は中通りで
平年並みかやや多めになる見込みです。

10月：はじめは曇りの日が多いですが、中
旬以降は秋晴れの天候に恵まれるのでし
ょう。月の総量は中通りは平年並みの見込み
です。

運転三悪追放

酒飲み運転
無免許運転
スピード違反

わが村の郵便局

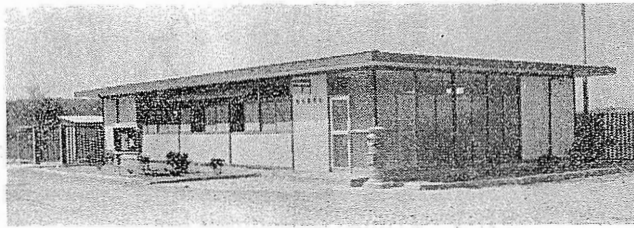
明治百年祭が行われる年、川辺村に手紙の集配局が発足してから九十二年になります。

新装なった明るい窓口、広々とした事務室の川辺局にて経歴をお尋ねしました。

明・三・一 泉村大字川辺字和尚平五〇番地に郵便事務を行う局が発足。(局長吉田正雄氏) 事務所局長宅。

明・三・一 泉村大字川辺字和尚平八五番地(川辺角屋白旗大輔氏向側、現農業倉庫附近)に移転(局長白旗半治氏)。

明・三・一 泉村大字川辺字宮ノ前一二番地(鈴木敬郎氏附近)に移転(局長高橋兼友氏)。



番地に土地五一坪五合(一七〇、二四㎡)を購入、建物、木造二階建小羽葺二坪

取扱う。

明・三・五 高橋重之進氏局長に就任。同年二月一日新築局舎に移転。

明・三・一 小包、外国為替、取扱。

明・三・一 振替貯金取扱。

明・三・一 一年金、恩給、取扱。

明・三・三 債券元利金取扱。

大・四・一 国庫金取扱、同七月一日府県税取扱。

大・五・一 簡易保険取扱。

大・五・二 電信電話取扱(第一種内国和文通信事務)。

大・八・七 国債募集(昭和二十六年八月一日廃止)。

大・九・六 区内無集配局及び簡易局として須金郵便局(須金村大字南須金字奥平一八番地)発足(局長塩沢正常氏)。

大・三・一 一代金居宅引換(大正一二年三月一日廃止)。

大・三・一 郵便年金取扱。

大・四・一 航空郵便取扱。

大・五・一 速達郵便取扱。

大・五・二 電話交換取扱。

大・六・一 一定額貯金取扱。

取扱。

昭・三・三 玉川村大字小高字南嶺七四の三及七七の三に局用地購入、地均一〇坪九合四勺(三六六、七四㎡)。

昭・三・三 新局舎落成移転、木造平家建、亜鉛鋼板葺五八坪一合七勺(一九二、二九㎡)現局舎。

昭・三・一 高橋兼之氏局長に就任。

その間大正一〇年四月二〇日、通信事業

五〇周年記念に次のような表彰を受けております。

表彰状

川辺郵便局長以下協力一致能く局務を整理し成績みるべきものあり将来益々奮励その実績を挙ぐるに務むべし

茲に通信事業創始五〇年祝典を挙ぐるに當り之を表彰す。

大正拾年四月貳拾日 通信大臣從三位勲一等 野田卯太郎

(文責 小山田)

お誕生おめでとう

お誕生日おめでとうございます

(七月分の出生届書から)

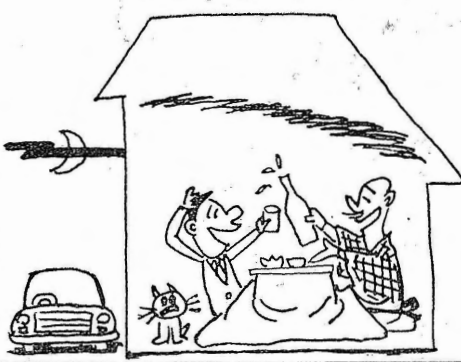
| 部落 | 生出児氏名 | 世帯主名 | 続柄 |
|-------|-------|------|----|
| 小高 | 溝井庄一 | 麻一 | 二男 |
| 中 | 小針敦子 | 幸助 | 孫 |
| 南須金 | 大野政幸 | 好之 | 二女 |
| 真野目順子 | 照雄 | 二男 | |
| 関根靖志 | 力三 | 二男 | |

ご逝去お悔み申し上げます

(七月分の死亡届書から)

| 部落 | 死亡者氏名 | 世帯主名 | 続柄 |
|------|-------|------|------|
| 川辺 | 吉村兵七 | 主 | 多美の父 |
| 小高 | 溝井トメ | 伝治 | 母 |
| 南須金 | 吉村ヨシミ | 嘉一 | 妻 |
| 大関シナ | 戸津今朝吉 | 母 | |
| 北須金 | 矢吹キサ | 辰義 | 母 |

まあまあ一杯！
ぐらいが事故の元



先月の日誌より 七月

| 役場 | 七月 |
|--------------|-----------------------|
| 七・五 臨時村議会 | 員卓球大会 |
| 七・六 農業委員会 | 教育委員会 |
| 七・七 月例監査 | 七・一七 教育委員、文教厚生委員、学校訪問 |
| 七・八 村議会協議会 | 公民館 |
| 七・九 石川地方町村職 | 親善野球大会代表者会議(抽選) |
| 七・一〇 石川地方町村職 | |

昭和43年度福島県職員採用候補者 初級試験のお知らせ

- 一、受験資格 昭和二十年四月二日から昭和二十六年四月一日までに生れた者(学歴は問いません)
- 二、受付期間 昭和四十三年九月二日から九月三十日まで
- 三、受験手続 申込用紙は福島県人事委員会事務局で交付します。郵便により請求する場合は封筒の表に「初級試験申込用紙請求」と朱書きし、十五円切手をはったあて先明記の返信用封筒を必ず同封してください。
- 四、試験の期日、場所 第一次 昭和四十三年十月十三日 福島市 郡山市 会津若松市 富岡町 第二次 昭和四十三年十一月下旬 福島市
- 五、この試験に不明の点は 福島県人事委員会事務局(県庁内)におたづねください。

編集後記



立秋も過ぎて、朝夕は涼しさが増して来ました。子供達も夏休みが終り第二学期が始まりますが、登校、下校時の交通事故に注意ください。

◎九月十五日は敬老の日であり我村の高令者を記しましたが、長い間郷土発展に御尽力されましたこと感謝いたします。今後とも健康に留意され、末永く我々を御指導くださるようお願いいたします。

◎役職員名簿送付しますので、御利用ください。